

社会福祉法人よるべ会
令和4年度事業計画書

社会福祉法人よるべ会
令和4年3月18日

令和4年度 社会福祉法人よるべ会事業計画

<基本方針>

障害のある人もない人も、平等に、自立に向かって努力し、共に暮らし合う社会をめざした活動を基本とする。そして法人が行う様々な活動を通して、利用する人たち自身が主体的に社会参加に向かい、その関わり合いの中で成長し、人としての喜びが広く生まれ続ける環境づくりとその支援に努める。また、そのためにも地域社会の福祉に積極的に貢献する。

<品質方針>

- ① 私たちは、適切なサービスを提供するために、各部署で高い技量と能力を得る努力を行い、それを支援の場で実践します。
 - ② 私たちは、その実践にあたり、常に利用者一人ひとりの尊厳と権利を尊重し、利用者本位を元にしたサービス提供を基本とします。
 - ③ 私たちは、日々親切・笑顔・挨拶をモットーに気配りの行き届いたサービス提供を行なう。
 - ④ 私たちは、常に品質マネジメントシステムによる改善を図り、質の高いサービス提供を実践します。
- *まずは標準化されたサービス提供を身につけ、その標準化されたサービスの上に、職員一人ひとりの持ち味を加え、より質の高いサービス提供につなぐ。

※ 大切にしよう5つのS

Service (貢献・奉仕)

他に尽し与え続ける活動は人としての使命、人たるゆえん。

Speed (迅速)

他人を待たず、他人のせいにせず、自ら進んで行動する。

Spirit (真心)

より善き人間となる。他人への思いやり無くして正しい判断や行動は出来ない。

Specialty (専門性)

より良きスキルを身につけ、本業の役割を担う。玄人となる。

Satisfaction (満足)

喜ばれる嬉しさ、達成感。

〔1〕 令和4年度主な活動計画

(1) 権利擁護

- ◎利用者一人ひとりの尊厳を守り、一人ひとりを尊重する
- ◎利用者一人ひとりの健康・快適・安心・生きがい・意思を支援する
- ◎各事業所での虐待防止委員会の設置と目標・充実を図る
(各事業所での虐待防止マネージャーの研修受講と配置)

(2) 業務の検証と改善

- ◎各事業所のサービス提供事業の充実と発展
- ◎各事業所で事業ごと（生活介護・入所支援・共同生活援助・計画相談支援・就労継続支援B型・障害児入所支援・児童発達支援等）に目標を設定
- ◎継続と改善を正しく見極める検証と改善の実行

(3) 人材確保・育成への取組

- ◎よるべ会の活動内容の発信
- ◎働き続ける意欲が生まれる職場づくり
- ◎働きやすさの追求
- ◎求人活動の検討（採用の仕組みづくり）
- ◎各事業所での人材確保（就業の継続・育成）

(4) 地域社会との連携

- ◎私達の活動が常に地域社会、そして様々な人達との関係で成り立っていることを踏まえ、利用者一人ひとりとその関わり合いにつなぎ、存在しあう関係づくり（共生社会の実現をめざす）

(5) 職員労務管理の改善

- ◎「働き甲斐のある職場づくり」を目指した就業規則・給与規程の見直し、検討の継続

〔2〕 役員会の開催

(1) 定例役員会開催

理事会	*令和 4年 6月 9日 (木)
	*令和 4年10月20日 (木)
	*令和 5年 3月 9日 (木)
評議員会	*令和 4年 6月24日 (金)
	*令和 4年10月28日 (金)
	*令和 5年 3月17日 (金)

(2) 監事監査の実施

(3) 必要に応じての役員会の開催

〔3〕事業概要

事業所名	よるべ沼代 (障害者支援施設)		コスタ・二宮 (障害福祉サービス事業所)		梅香園 (障害福祉サービス事業所)		わらべの杜 (福祉型障害児入所施設)	
実施事業	施設入所支援	定員40名	就労継続支援B型	定員20名	就労継続支援B型	定員18名	施設入所支援	定員40名
	生活介護	定員40名	生活介護	定員20名	生活介護	定員22名	短期入所	定員4名
	短期入所	定員4名	相談支援事業		相談支援事業		相談支援事業	
	相談支援事業							
事業所名	障害者支援センターぼけっと (就業・生活支援センター)		かめりあ・ポラリスホーム 共同生活支援事業(計8棟)		あずさの家 共同生活支援事業(計3棟)		どーむ (児童発達支援事業所)	
実施事業	就業・生活支援センター	登録者約530名	かめりあホーム	定員 33名	あずさの家	定員 7名	児童発達支援事業	定員10名
	地域就労援助センター		ポラリスホーム	定員 13名	ポプラの家	定員 7名		
	相談支援事業				わたくも	定員 7名		

〔4〕職員配置

【法人職員状況】														(令和4年4月1日予定)			
職種	よるべ沼代		コスタ・二宮		梅香園		わらべの杜		ぼけっと		かめりあ・ポラリス		あずさの家		どーむ		
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
管理者	1		1		1		1		1		1		1		1		
サビ児管	1(兼)		1(兼)		1		1				1		1(兼)		1		
医師																	
看護師	1		1(兼)		1(兼)												
栄養士																	
生活支援員	14	5	2	5					5	2	4		4				
支援員		3	4	4	10	4									1	3	
保育士							5	4								2	
児童指導員							9	14									
相談支援専門員	3	1					1(兼)										
世話人											20		8				
運転手					3		1	1									
事務員	4				1												
その他						1											
小計	23	9	7	9	13	8	17	19	6	2	6	20	4	8	2	5	
	32		16		21		36		8		26		12		7		
合計	78	80	158														

〔5〕保護者会との連携充実

〔6〕職員の確保と資質向上を図る研修を行う

〔7〕よるべ会の広報活動として「瓦版よるべ」を発行(8月・1月)

〔8〕各施設・事業所の防災対策の充実を図る

〔9〕大学・専門学校の実習生を受け入れ、その育成機関の役割を果たす

(各施設・事業所)

令和4年度 行事・研修予定表

月	行事・家族会他	理事会・研修会他
4	01(金) 辞令交付	12(火) 責任者会・運営会議
	02(土) よるべ会保護者会役員会 (日) 沼代地区祭り	26(火) 責任者会・品質委員会
	16(土) よるべ会保護者会総会	
	19(火) みのり会総会	
	27(水) 健康診断 (梅香園)	
5	28(土) みんなのつどい	10(火) 責任者会・運営会議 31(火) 責任者会・品質委員会 ()～() 福祉協会全国施設長等会議
6	03(金) ハイキング (梅香園) () 歴史そば会 (梅香園) () 内科検診 (梅香園)	() よるべ会監事監査 09(木) よるべ会理事会 14(火) 責任者会・運営会議 ()～() セルブセンター研修大会 () 24(金) よるべ会評議員会 28(火) 責任者会・品質委員会
7	13(水) 健康診断 (コスタ・わらべ) 20(水) 健康診断 (よるべ沼代) 23(土) 梅香園納涼大会 30(土) よるべ夏祭り	09(土) 全体職員会議 12(火) 責任者会・運営会議 26(火) 責任者会・品質委員会
8	11(木)～15(月) 夏休み 22(月)～23(火) わらべの杜一泊旅行	09(火) 責任者会・運営会議 ()～() グループホーム研修会() ()～() セルブリーダー養成前期ゼミ 30(火) 責任者会・品質委員会
9	02(金) 梅香園旅行 () 健民祭 (よるべ沼代・わらべの杜) 09(金) よるべ沼代日帰り旅行 17(土) よるべ会保護者会 19(月) 敬老会 (よるべ沼代) 24(土) 歯科検診 (よるべ沼代)	13(火) 責任者会・運営会議 17(土) 法人全体職員研修会 27(火) 責任者会・品質委員会
10	16(日) よるべふれあい祭り 22(土) 秋の感謝祭 (梅香園) () 予防接種 (梅香園) () コスタ二宮日帰り旅行 28(金) よるべ沼代日帰り旅行	11(火) 責任者会・運営会議 ()～()セルブ関東 () ()～()福祉協会関東 () ()～()日中活動支援部会 () ()～()セルブ総合研究 () [] 20(木)よるべ会理事会 25(火) 責任者会・品質委員会 28(金) よるべ会評議員
11	11(金) 予防接種 (コスタ二宮) 12(土) 予防接種 (わらべの杜) 18(金) 予防接種 (よるべ沼代) 26(土) 予防接種 (わらべの杜) 25(金) よるべ沼代日帰り旅行	05(土) 全体職員会議 08(火) 責任者会・運営会議 ()～() 障害者施設支援部会 () [] 29(火) 責任者会・品質委員会
12	03(土) 県西地区文化事業 10(土) よるべ会保護者会・よるべ沼代清掃 16(金) よるべ沼代クリスマス会 17(土) コスタ二宮クリスマス会 17(土) わらべの杜クリスマス会 28(水) よるべ沼代餅つき 29(木)～1/3(火) 冬休み	13(火) 責任者会・運営会議 ()～() 児童発達支援部会 () [] 27(火) 責任者会・品質委員会
1	4(水) 仕事始め 07(土) よるべ会新年会・大山阿夫利神社参拝 10(火) どんど焼き (わらべの杜) 14(土) どんど焼き (よるべ沼代)	10(火) 責任者会・運営会議 ()～() 福祉協会全国 () [] ()～() セルブリーダー養成後期ゼミ 31(火) 責任者会・品質委員会
2	18(土) 内科検診 (よるべ沼代) 18(土) よるべ会保護者会役員会 26(日) 消防団合同訓練 (よるべ沼代・わらべの杜)	14(火) 責任者会・運営会議 18(土) 全体職員会議 28(火) 責任者会・品質委員会
3	(日) わくわくのりのりコンサート	09(木) よるべ会理事会 11(土) 全体職員会議 17(金) よるべ会評議員
		1. サービス管理責任者研修 2. 相談支援従事者研修 3. 虐待防止・権利擁護研修 4. 強度行動障害支援者養成研修

令和4年度

障害者支援施設「よるべ沼代」生活課 事業計画

〔1〕運営目標

よるべ会の基本方針に基づき、質の高いサービス提供ができる様、計画的に目標設定を行い、様々なニーズに対応します。「施設入所支援」「生活介護」「短期入所」「日中一時」事業をさらに充実させ、入所利用者の高齢化・重度化への対応、必要な支援を進めます。また、他の事業所と連携を深め、施設生活の質の向上に向けた環境づくりを積極的・計画的に実施します。

〔2〕年間計画

(1) 入所支援

利用者の健康に留意し心身機能の維持、向上に努めます。職員間で情報共有を図り、状況に応じた配慮や介護保険制度への移行、成年後見制度の利用等、必要な支援を計画、実施します。また、それぞれの世代や個人の趣向を考慮した余暇活動を検討、充実を図ります。

■入所者 年代別人数 (40名) 最小年齢 18歳 最高年齢 87歳

	20歳未満	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳～	平均年齢	計
男性	1	3	2	3	8	5	2	0	50.4	24人
女性	0	3	0	1	5	5	1	1	54.4	16人
計	1	6	2	4	13	10	3	1	52.0	40人

■入所者 障害支援区分人数 (40名)

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	平均区分
男性	0	0	0	5	9	10	5.20
女性	0	0	0	5	7	4	4.93
計	0	0	0	10	16	14	5.10

(2) 生活介護事業

■定員 40名 現員 40名 (入所者 37名 通所者 3名)

	養鶏	楽菜	遊心
利用者人数	11 (通所 2名含む)	13	16 (通所 1名含む)
	男性 8 女性 3	男性 10 女性 3	男性 6 女性 10
支援員人数	6	5	8
	常勤 3 非常 3	常勤 4 非常 1	常勤 5 非常 3

活動場所	養鶏飼育場 1 ヶ所 鶏作業棟 1 ヶ所	遊心庵 1 ヶ所	3 F ホール 1 ヶ所
主な活動内容	養鶏育成 餌づくり 餌・水やり 飼育場 整備 鶏卵集め 卵 みがき クラブ活動	リサイクル・園芸活 動 環境整備・機能 維持訓練健康づく り・創作活動 クラ ブ活動	創作活動 (ビーズ、ペ グ、季節の飾り) 機能 維持訓練・健康づく り・創作活動・クラブ 活動

(3) 短期入所・日中一時支援事業 (短期入所 定員 4 名)

地域のニーズを把握しながら利用者、ご家族の要望への対応、受入れを行います。小田原市地域生活支援拠点事業の拠点等を担う事業所として登録し、緊急時の受入れ、体験の機会・場として積極的に対応、受入れを行います。

(4) 職員体制

	常 勤	非常勤	計
施設長	1 名 (兼務)		1 名
サービス管理責任者	1 名 (兼務)		1 名
課長	1 名		1 名
主任	4 名		4 名
支援員	8 名	8 名	16 名
看護師	1 名 (兼務)		1 名
医師		2 名 (委託)	2 名

(5) 年間スケジュール

月	行事	月	行事
4	保護者面談	10	ふれあい祭り／楽菜班日帰り旅行 保護者面談
5	GW レク	11	保護者面談／養鶏班日帰り旅行
6		12	県西地区文化事業／クリスマス会 ／餅つき
7	健康診断	1	新年と成人を祝う会／西湘蘭展
8	夏祭り／夏休みレク／真夏の夜 の夢コンサート	2	節分／内科検診
9	遊心班日帰り旅行／敬老の日／ 歯科検診／養鶏班日帰り旅行	3	わくのりコンサート
【その他】 インフルエンザ予防接種 (10 月～11 月)			

(6) 医療

- ・健康診断 2回/年 ・インフルエンザ予防接種 1回/年
- ・歯科検診 1回/年 ・訪問歯科 1回/週 ・精神科（訪問）1回/月
- ・定期通院（精神科・皮膚科・内科・外科・整形外科・歯科など）
- ・身体測定 1回/月 ・医務 栄養ケア会議 1回/月
- ・給食会議 1回/月（食事提供の委託先業者、看護師、生活課長、主任が参加。食事形態や栄養管理を含め個別対応の経過確認。健康保持のための適切な支援を行います。

(7) 苦情解決

相談、要望、苦情についての相談窓口を設置。JSY（寿徳会・至泉会・よるべ会）ネットを活用し、他法人と情報共有を図ります。苦情解決の体制、手順に沿って各機関への経過報告を行い、速やかに対応します。

(8) 県西地区障害者施設権利擁護ネットワーク（KW ネット）

相談員 2 名が隔月で訪問し、利用者さんと面談を実施。面談の内容や、いただいた助言を活かし支援の質の向上に取り組めます。また。虐待防止マネージャーを中心に権利擁護に対する意識の向上を図ります。

(9) 防災・災害対策

年 3 回の防災訓練を実施します。内 1 回は小田原市消防団（22 分団）合同防災訓練を行います。かながわ災害福祉広域支援ネットワークや県施設団体連合会の災害時訓練、地域の防災フェスタ等への参加を通じて、職員の意識向上や災害時への備えを継続して進めます。

(10) 職員の質の向上

施設として必要なスキルを意識し、外部研修への積極的、計画的な参加や内部研修を実施します。新任職員への教育体制について工夫、改善を進めます。職場 の定着を高めるため職員のモチベーションの維持、育成と人材確保へ向けた対策を検討、実施します。

(11) 地域連携

地域社会や関係機関との連携を図り、求められる役割について検討していきます。今後も地域行事への積極的な参加、協力を継続し、地域のボランティアさんとの交流を進めます。

〔3〕 ISO 品質活動計画

具体的活動①	到達点
<p>【権利擁護の確立】</p> <p>◆その人の意向、思いを支援場面に活かす取組みを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の支援・面談の時間を確保する工夫。 ・成年後見制度利用の促進。 ・虐待防止委員会の定期的な開催。 	<p>権利擁護に対する意識の向上。本人の思いを支援に反映できた。</p>
具体的活動②	到達点
<p>【業務の検証と改善】</p> <p>◆各事業のサービス提供の充実。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設入所：楽しみの場面の増設。それぞれの世代や趣向を考慮した余暇の実施。 ・生活介護：活動内容の再検討。それぞれの世代や特性を考慮した活動を検討、実施。 ・短期入所：安心して過ごせる時間、場の提供。 	<p>新たな取組みを実施、積極的に活用する。 (毎月の会議での確認、検証を習慣化する)</p>
具体的活動③	到達点
<p>【人材確保・育成】</p> <p>◆働き続ける意欲が生まれる職場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自のスキルアップに向けた学習の機会の増設 ・やりがい、意欲につながるコミュニケーションの場 (職場環境について等、検討チームで改善を進める) 	<p>働きやすい環境づくりが進んだ</p>
具体的活動④	到達点
<p>【地域社会との連携】</p> <p>◆地域の方やボランティアさんとの交流を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防を踏まえた交流の方法を工夫し、実施する。 	<p>地域との交流の機会が増えた</p>

令和4年度 共同生活援助・相談支援事業

「地域生活支援課・相談支援課」事業計画

〔1〕運営目標

今年度も、利用者のライフステージに沿いながら、若い世代の利用者への今後に向けた目標を念頭とした支援や中高齢世代の利用者の方々への医療、介護、などの社会資源との繋がりを意識した支援を実施していきます。ホーム利用者にとっては、お住いのホームがご自身にとって安心した生活の空間となるように、細やかな生活の支援を行っていききたいと思います。まだまだコロナ渦が続くことが予想されるため、ホームの生活において感染の防止、拡大の防止に努め、必要な対策を講じ安心、安全な生活支援の提供を行います。

事業所名	利用定員	住居数	名称
かめりあホーム	33名 (うち1名はサテライト住居)	6か所	かめりあホーム(6) ナスカの家(6)、一色ハウス(5)、湘南ビレッジ(5)、かめりあホームⅡ(5)、ラパ・ゆりが丘(5)
ポラリスホーム	13名	2か所	ポラリスホーム(5)、エピナールホーム(8)

〔2〕年間計画

(1) 共同生活援助(かめりあホーム事業所、ポラリスホーム事業所)

コロナ渦が続くことが予想されるため、感染防止、拡大対策に十分に留意をしながら日々の利用者の暮らしを支えていきます。

■定員46名 現員42名(3月1日現在、4月1日1名入居予定)

■入居者 年代別人数(42名) 最小年齢19歳 最高年齢83歳

	20歳未満	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳～	平均年齢	計(人)
男性	1	9	1	7	5	4	2	1	44	30
女性	0	2		1	1	3	4	1	59	12
計	1	11	1	8	6	7	6	2	48	42

■入所者 障害支援区分人数(42名)

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均区分
男性	1	0	17	6	4	1	1	2.6
女性	0	0	3	5	4	0	0	3.1
計	1	0	20	11	8	1	1	2.9

〔3〕 ISO 品質活動計画

具体的活動①	実施者	到達点	評価
【権利擁護の確立】◆学習の場、研修への積極的な参加等の機会を作る。 ◆ホームごとで伝達研修など共通認識を図る。	課長 主任	日常の記録に権利擁護に関する記述が増えた	日常の支援場面で権利擁護に対する意識が高まった
具体的活動②	実施者	到達点	評価
【業務の検証と改善】◆業務状況を確認。必要な業務と簡素化できる業務の見極めを行う。◆現場からの提案の吸い上げをし、業務に反映をしていく。	職員	ウィークリー業務、マンスリー業務、年間とスケジュールを意識した業務運営を実施していく。	業務の改善を世話人さんと一緒に考え、実施できたか
具体的活動③	実施者	到達点	評価
【人材の確保、育成】◆利用者の自己決定を支援するために、意思決定支援に関して研修参加や内容の共有を図る。	職員	意思決定支援支援会議を利用者ごとに開催する。	意思決定支援が活かされた活動となっているかどうか
具体的活動④	実施者	到達点	評価
【地域社会との連携】◆事業所の得意なこと（人、物、場所等）を活用し地域との関わりを深める	職員	地域との交流の機会が増えた	地域のニーズを意識して実施できたか

〔4〕 相談支援室

〔1〕 運営目標

- ・自分らしい活動が出来るように、一緒に考えます。
- ・困っていることや心配なことを解決できるように一緒に考えます。
- ・やってみたいことを実現できるように、一緒に考えます。
- ・自分らしい楽しい人生を歩んでいけるように、一緒に考えます。

〔2〕 年間計画

（1） 指定特定相談支援事業

- ・障害のある人等からの相談に応じ、必要な支援を提供する。
- ・障害のある人等が障害福祉サービスを利用する前にサービス等利用計画を作成し、一定期間ごとにモニタリングを行う等の支援を行う。
- ・関係機関と連携し、サービスの調整や情報提供を行う。

(2) 地域生活支援拠点事業

1、相談

緊急時の支援が見込めない世帯を事前に把握し、登録した上で、常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に必要なサービスのコーディネートや相談その他必要な支援を行う。

2、専門的人材の確保養成

医療的ケアが必要な者や行動障害を有する者、高齢化に伴い重度化した障害者に対し、専門的な対応を行うことができる体制の確保や、専門的な対応ができる人材の養成を行う。

3、地域の体制づくり

地域の様々なニーズに対応できるサービス提供体制の確保や、地域の社会資源の連携体制の構築等を行う。

(3) 職員体制

	常勤	非常勤	計
管理者（兼務）	<室長> 1名	0名	1名
相談支援専門員（専従）	<課長> 1名	0名	1名
	2名	0名	2名

令和4年度

障害福祉サービス事業所「コスタ二宮」事業計画

〔1〕 運営目標

コロナ禍を意識した中で、利用者の人権を尊重し、一人ひとりの思いに寄り添いながら、個々の強みを生かし、適切なサービス提供をしていきます。

〔2〕 年間計画

(ア) 障害福祉通所サービス事業

① 就労継続支援B型事業 定員=20名 現員24名

- ・食品作業を主体とし、商品がすべてオリジナルである為の特性を生かし、利用者個々の強みを生かした作業提供をしていきます。
- ・豊かな地域生活継承のための高工賃確保と、就労に向けての「基本的作業態度」の熟成を図ります。

② 生活介護事業 定員=20名 現員24名

- ・豊かな社会生活を過ごすために生産活動・学習活動・創作活動等のプログラムを個々のニーズに基づき提供していきます。

(イ) 日中活動

◆製パン班(就労継続支援B型事業)

- ・食パン・コッペパンのパン製造、パウンドケーキ・クッキー等の焼き菓子製造を2班にて展開していきます。施設給食、委託店舗の販路拡大も効果的に進めていきます。

収入計画=1,300万円 (令和3年度計画=1,250万円)	(施設給食=400万円) (委託店舗=700万円) (外販他=200万円)
支出計画=1,250万円	(仕入れ・原料=700万円) (工賃=450万円) (その他=100万円)
月額目標工賃	平均=22,000円 (令和3年度20,000円)

◆製麺班(就労継続支援B型事業)

- ・学校給食、施設給食、委託店舗販売を主として展開していきます。
- ・施設外支援の場「(株)柳川乳業」様へ、定期的な訪問による安定した支援を実施していきます。

収入計画=650万円 (令和3年度620万円)	(施設給食=270万円) (学校給食=100万円) (委託店舗=200万円) ((株)柳川乳業様=50万円) (外販他=30万円)
----------------------------	---

支出計画=620 万円	(仕入れ・原料=300 万円) (工賃=230 万円) (その他=90 万円)
月額目標工賃	月平均=22,000 円 (令和3年度 21,000 円)

◆ S P 企画(生活介護事業)

- ・「働きたいという人のために」生産活動として、「小田原市観光協会」委託の提灯作成、「(株)日本リユース」の古着回収キットの組み立て、「神奈川セルフ共同受注」から委託の駐車場清掃・水道メーター分解、「秋沢農園」から委託の果物一次加工等の作業を提供し工賃を支給していきます。
- ・他各種活動として、個別支援を中心とした創作活動・健康維持活動を実施していきます。

収入計画=200 万円	(小田原市観光協会=70 万円)(共同受注=25 万円)(秋沢農園=15 万円)(その他=90 万円)
支出計画=200 万円	(工賃=120 万円) (その他=80 万円)
月額目標工賃	平均=5,000 円

◆ ぽいんと1の運営

- ・利用者社会参加の場として、シルバー人材センター派遣店員の方と“よるべ会”商品のアンテナショップとしての役割を果たしていきます。

〔3〕年間スケジュール

月	行事	月	行事
4	開所日(29日)	10	よるべふれあい祭り(16日)
5	開所日(5日、28日=日帰り旅行予定)	11	開所日(3日、5日)
6		12	開所日(10日)Xmas会(17日)、
7	開所日(9日) 夏祭り(30日)	1	新年会(7日) 開所日(28日)
8	開所日(27日)夏休み(11日~15日)、	2	開所日(18日)
9	開所日(17日)	3	開所日(11日)
【その他】健康診断=7月 予防接種・内科健診=11月			

*開所日に関しましては、コロナ対応で各作業班単位の小グループでの活動を主とし状況を見ながら、団体レク等を実施していきます。

〔4〕健康、衛生

- ・健康診断 1回/年 ・インフルエンザ予防接種、内科健診 1回/年
- ・体重、血圧測定 9回(開所日時)/年
- ・感染症に対する認識を高めて、新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス等の予防と感染対策に努めていきます。

〔5〕 苦情解決

- ・ 要望、相談、ヒヤリハットの情報を、日常から収集できるシステムを構築しリスクの低減に努めます。
- ・ JSY（寿徳会・至泉会・よるべ会）ネットによる情報を有効活用

〔6〕 権利擁護への取り組み

- ・ “虐待防止マネージャー” を中心として、職員向けの自己チェックリストを定期的に実施し防止のための啓発活動を進めていきます。

〔7〕 防災・災害対策

- ・ 火災や地震等の非常事態に備えた防災訓練等を定期的を実施します。
- ・ 防災計画(BCP)を精査します。

〔8〕 職員の質の向上

- ・ 内部研修の強化や、他施設・法人内他施設への見学・実習等を実施していきます。

〔9〕 地域連携

- ・ 二宮町“東大跡パラスポーツの会”へ積極参加します。
- ・ 「よるべふれあい祭り」を通じて、“二宮町社会福祉協議会” “二宮工業団地” “福祉サービス事業所＝カンナカンナ” “二宮町シルバー人材センター”との連携を図ります。

〔ISO 品質活動計画〕

具体的活動①	実施者	到達点
<p><権利擁護>事業所内研修を年間3回実施する。また利用者対象の権利擁護学習会を年2回開催。権利擁護と虐待防止自己チェックを年2回の実施。</p>	課長 主任	設定した目標回数通り、研修・自己チェック他を実施できた。学習効果を確認し情報共有できた。
具体的活動②	実施者	到達点
<p><人材の確保・育成> ■教育プログラムを考え、人材育成と定着に向けた支援を実施。併せて面談や意見抽出の機会を設定し年2回実施する。 ■商品や活動の情報発信を行う。内容や方法を検討し、定期的に配布する仕組みを作る。</p>	施設長 課長 各職員	職員間の情報共有とコミュニケーションが増えた。働きやすさや意欲等について皆で考え目標設定や課題解決につながった。情報発信の機会を作れた。
具体的活動③	実施者	到達点
<p><業務の検証と改善> ■コスタ二宮（就B）工賃増を目標として、HACCPに基づく品質維持管理を徹底し、顧客との信頼関係を維持する。売上げ増に繋がる活動を積極的にを行い、定期的に検証と評価を行う。 ■SP企画（生介）個別支援計画に基づき、個別ニーズの実現のために、生活介護プログラムの充実を図る。具体的には高齢者対象の健康維持、学習と運動の機会を設定、ADL・社会生活スキルの向上等をメニュー化して運用する。</p>	施設長 課長 主任	<p>毎月のコスタ会議でそれぞれの目標の進捗状況を報告し、評価を行い、検証され、改善の機会や課題抽出につながった。</p> <p>顧客満足度調査を年1回実施し、顧客へのサービス維持・向上が図れた。</p>
具体的活動④	実施者	到達点
<p><地域社会との連携> 地域福祉の視点から利用者が主体となり、地域社会との関わりに積極的に参加する。パラスポーツの継続。地域行事の参加と協同。二宮町、社会福祉協議会、工業団地、近隣自治会など社会資源となる組織との関係性や繋がりを維持・発展させる。</p>	課長 主任	地域社会との関係性を継続し発展できた。協同の機会を設けて相互関係の活動や具体的な連携ができた。

令和4年度 障害福祉サービス事業所「梅香園」事業計画

〔1〕運営目標

- ・利用者さんに安心して安全なサービス提供をします。
(ヒヤリはつとを主に検証と改善策の確認をします。)
- ・サービス事業の充実を図るため、業務の検証と改善を推進します。
(利用者の適性や特性を考慮した作業内容等を検討し、最善な利用者支援を展開します。)
- ・人材の確保と職員のスキルアップを図ります。
(オンライン研修を導入と職員研修の充実を図ります。)
- ・地域活動・行事への参加・協力とともに、地域への啓蒙活動を推進し、地域・関係機関との関りを深めていきます。
(地域行事に積極的に参加し、は一とふる通信を年2回発行します。)

〔2〕年間計画

(1) 障害福祉サービス事業①生活介護事業 (定員22名)

【ほがらか・にこにこ】利用人数25名 職員数6.5名

項目	収入	支出		収支
	作業収入	仕入れ	工賃	
金額	1,300,000	100,000	1,100,000	100,000
		目標工賃月額	3,000	

支援項目	支援内容
事業の目的	【ほがらか】“ほがらかに毎日たのしく”を中心に、各利用者の個性・特性を考慮した活動を展開していきます。 【にこにこ】にこにこと大好きな作業を中心に毎日が充実した活動を展開していきます。
課題と作業のマッチング	各事業所の目的に沿った必要な支援、作業内容、活動等を考え実施していきます。利用者の適性を考慮した作業工程の見直しと細分化・工夫を継続します。
作業の内容	【園内作業】張子の生地作成、PC作業、園内清掃、内職軽作業(アルミ缶つぶし、卵パック、自動車部品の組み立てなど)など 【園外作業】旧箱根北原ミュージアム庭園清掃、ネクスコ草取り、除草作業など ※作業室内の整備(個別支援のスペース)を行い、環境面を改善していきます。
楽しみづくり	作業だけでなく様々な活動を通じて、笑顔になれるよう支援していきます。 習熟性を高めて、より活動が楽しめるように、季節を感じられるような

	余暇の過ごし方を工夫していきます。
健康体力づくり	利用者の健康面を考慮した運動プログラムを継続して展開していき、その効果についても定期的に確認していきます。 PTについて、計画的に行っている内容を継続して実施していきます。
個別について	個別の時間を確保して、計画的に必要な支援が確実に出来るように行います。個別に取組んできたことの振り返りを行い、最善の支援を目指します。

②就労継続支援B型事業（定員18名）

【シャイン・あすなろ・ラルース】利用人数26名 職員数4.75名

項目	収入		支出		収支
	作業収入	仕入れ	工賃		
金額	12,360,000	3,670,000	6,840,000		1,850,000
		目標工賃月額	20,000		

支援項目	支援内容
事業の目的	<p>【印刷・園内作業】シルク印刷、張子製作、内職作業等を通じて、毎日作業が出来る楽しみを中心に活動を展開します。</p> <p>【清掃作業】衛生面に留意し、清掃及び洗濯作業を通じて、施設外就労に向けた取り組みを中心に活動を展開します。</p> <p>【ラ・ルース】高度な技術を目指し、やりがいのある作業にします。</p>
作業内容	<p>【印刷・園内作業】シルク印刷、タオル印刷、張子作成、よるべ会カレンダー作成、内職軽作業(自動車部品組立、タオルたたみ・のし・袋入れ、卵パック)等</p> <p>【清掃作業】園内清掃、ひかりの里(清掃・洗濯)足柄療護園(トイレ清掃)、旧箱根北原ミュージアム庭園清掃、リンガーハット駐車場棟の剪定・清掃、ネクスコ草取りなど</p> <p>【ラ・ルース】ラルース(木工所)での木工作业</p>
課題と作業のマッチング	<p>【印刷・園内作業】【清掃作業】</p> <p>作業種に対しての適性を見直しを行い、利用者の意向や特性に合わせて印刷・園内作業と清掃作業と作業種を固定せずに柔軟に作業に取り組めるようにします。加えて、新たな作業にチャレンジして新規免許証取得を支援します。</p> <p>【ラ・ルース】免許証の更新試験を積極的にしていきます。</p>
作業スキルの向上	<p>【印刷・園内作業】【清掃作業】</p> <p>免許証試験を活用し作業スキル向上と、作業能力維持のために更新試験を継続して行います。また、新たな作業種にもチャレンジをできるように支援します。</p> <p>【ラ・ルース】様々な作業に対応できるように作業スキルの向上を目指します。</p>

楽しみづくり	【印刷・園内作業】【清掃作業】【ラ・ルース】 利用者の好奇心や新たなことへの興味を大切に、挑戦する機会を提供していきます。各教室の発表の場や行事に応じた創作活動はだけでなく、学習にも力を入れて、楽しみ作りにつなげていきます。
健康体力づくり	【印刷・園内作業班】【清掃班】【ラ・ルース】 作業との気分転換を兼ねて、外での運動を継続します。PT は自主で行うとともに、一緒に行なうなど方法や工夫をして健康体力づくりにつなげます。医療面は毎朝の検温、日々の体調確認、感染予防対策等を継続していきます。
個別について	【印刷・園内作業班】【清掃班】 個別の時間を確保して、ことを大切にしていきます。PC での学習時間を設定して、PC を使った作業種の拡大に繋げていきます。 【ラ・ルース】 個別の時間を工夫して、利用者が楽しめること・やりがいにつながることを、一緒に取り組みます。

(2) 日中一時支援

就労後の支援（職場定着支援・金銭管理等）を行います。

(3) クラブ活動

外部講師による教室を開催し、利用者さんの楽しみを趣味や特技に引き上げ、生きがいのある暮らしに役立てていただきます。

音楽・ウクレレ・ヨガ・キーボード・歌唱・裁縫・リズム体操・エアロビ・書道・手話・漫画・パソコンの12教室

(4) 年間スケジュール

月	行 事	月	行 事
4月	レク①・利用者健康診断	10月	感謝祭
5月	みんなのつどい	11月	レク③・インフルエンザ予防接種
6月	ハイキング・内科検診	12月	文化事業
7月	納涼大会・職員健康診断	1月	よるべ新年会
8月	レク②	2月	事業所別レクリエーション
9月	全体旅行	3月	レク④
【その他】誕生会・年度始めの会・新年初めの会・はばたき会			

(5) 医療

年1回の健康診断と内科検診、インフルエンザ予防接種の他、必要に応じて通院同行等を行います。

(6) 苦情解決

ご利用されている方々からの話に耳を傾け、「苦情解決システム」に基づき丁寧な対応を心がけます。

JSY（寿徳会・至泉会・よるべ会）ネットにて、各機関での経過・報告を行い、支援の質の向上に努めていきます。

(7) 県西地区障害者施設権利擁護ネットワーク (KW ネット)

1名の相談員(女性)による相談支援を、継続的に年間6回行います。

(8) 防災・災害対策

防災委員会を設置し、防災計画・防災設備の点検及び非常食の整備を行い、災害に備えて定期的に避難訓練を行います。

(9) 職員の質の向上

オンライン研修及び園内研修等を企画し、職員のスキルアップを図ります。

(10) 地域連携

地域活動及び行事等に参加・協力するとともに、「はーとふる通信」(年2回)を継続的に発行して啓蒙活動を推進します。

〔3〕 ISO 品質活動計画

具体的活動①	実施者	到達点	評価
【権利擁護】 ○虐待防止委員会を設置し、虐待の定義を理解する。 ○虐待マネージャーを配置する。	施設長 リスクマネジメント委員会	虐待防止委員会を設置し、虐待の定義を理解し、虐待マネージャー研修を受け配置できた。	虐待の定義を理解し、一人一人の生活する、作業する権利を考え、その人らしさを創造できる支援場面の展開ができたか。
具体的活動②	実施者	到達点	評価
【業務の検証と改善】 ○各事業所が新たに取り組む支援、マニュアルや手順書を見直し、課題を抽出する。	主任会 全職員	・利用者の特性や要望に応じた支援が展開できた。 ・見直すことで必要な課題を抽出できた。	本人、家族、職員それぞれが最高だと思える支援ができたか。
具体的活動③	実施者	到達点	評価
【人材確保と育成】 ○梅香園の活動を理解して、働きたいと思える職場づくり ○専門性を向上する職員研修の実施	施設長 課長 主任会	園の活動を理解できるパンフレットを作成し、人材育成に活用できた。 職員の専門性が向上し日々の支援に活用できた。	職員が働きやすい職場になったか。 パンフレットを人材育成に活用できた。 研修の成果が現れたか。
具体的活動④	実施者	到達点	評価
【地域社会との連携】 ○障がい者の啓蒙活動 ・地域と連携した行事運営 ・「はーとふる通信」の発行	広報委員 全職員	地域の方と一緒にあった行事の運営等 「はーとふる通信」の発行	啓蒙活動が梅香園らしい活動となっているか。

令和4年度 共同生活援助事業所

「あずさの家」事業計画

<事業所名>	<グループホーム名>	<定員>
あずさの家（定員21名）	あずさの家（女性専用）	7名
	ポプラの家（男性専用）	7名
	※短期入所事業（空床型1名）	
	わたくも（アパート型）	7名

〔1〕運営目標（*梅香園の運営目標に準じます。）

- ・利用者さんに安心して安全なサービス提供をします。
（ヒヤリはつとを主に検証と改善策の確認をします。）
- ・サービス事業の充実を図るため、業務の検証と改善を推進します。
（入居者が少しでも潤いのある生活が感じられるように支援を展開します。）
- ・人材の確保と職員のスキルアップを図ります。
（オンライン研修を導入と職員研修の充実を図ります。）
- ・地域活動・行事への参加・協力とともに、地域への啓蒙活動を推進し、
地域・関係機関との関りを深めていきます。
（地域行事に積極的に参加し、は一とふる通信を年2回発行します。）

〔2〕年間計画

（1）あずさの家<共同型住居>

女性7名 平均年齢51.9歳（最高年齢：87歳／最少年齢：31歳）
区分6：1名／区分5：2名／区分3：3名／区分2：1名 平均程度区分：3.86

支援項目	支援内容
健康・医療	入居者の体力・気力の減退に気を配り、感染予防に気をつけて、安心安全な生活環境を整え、落ち着いた生活が維持できるようにしていきます。 入居者の体調変化にすぐ気づけるように共通認識をもって職員同士で連絡を密にとるように心がけます。
楽しみづくり	一人一人がホーム内で楽しめることを一緒に考えるとともに、みんなで楽しめることも企画提案していきます。 個別外出を定期的に行い、ストレスを溜め込まない工夫をします。 体力維持とストレス発散の為に積極的に近隣の散策を行います。
生活づくり	定期的に職員と一緒に片付けを行うとともに、一人一人の個性に合わせた居室づくりをしていきます。

夜間支援	<p>ポプラと連携して緊急時の安全確保を行います。</p> <p>夜勤時の何かあった際の対応等について、流れなどをしっかり職員間で理解できるようにしていきます。</p>
------	--

(2) ポプラの家<共同型住居>

<p>男性6名 平均年齢51.8歳（最高年齢：78歳／最少年齢：21歳）</p> <p>区分6：1名／区分5：1名／区分4：3名／区分3：1名 平均程度区分：4.33</p>	
支援項目	支援内容
健康・医療	<p>入居者の体力・気力の減退に気を配り、感染予防に気をつけて、安心安全な生活環境を整え、落ち着いた生活が維持できるようにしていきます。</p> <p>入居者の体調変化にすぐ気づけるように共通認識をもって職員同士で連絡を密にとるように心がけます。</p>
楽しみづくり	<p>一人一人がホーム内で楽しめることを一緒に考えるとともに、みんなで楽しめることも企画提案していきます。</p> <p>個別外出を定期的に行い、ストレスを溜め込まない工夫をします。</p> <p>体力維持とストレス発散の為に積極的に近隣の散策を行います。</p>
生活づくり	<p>自分から発信されない入居者の生活を少しでも潤いのあるものにするために、職員から提案していきます。</p>
夜間支援	<p>あずさと連携して緊急時の安全確保を行います。</p> <p>夜勤時の何かあった際の対応等について、流れなどをしっかり職員間で理解できるようにしていきます。</p>

(3) わたくも<アパート型住居>

<p>男性5名／女性0名 平均年齢58.8歳（最高年齢：68歳／最少年齢：44歳）</p> <p>区分4：2名／区分3：1名／区分2：2名／平均程度区分：3</p>	
支援項目	支援内容
健康・医療	<p>入居者の体力・気力の減退に気を配り、感染予防に気をつけて、安心安全な生活環境を整え、落ち着いた生活が維持できるようにしていきます。</p> <p>入居者の体調変化にすぐ気づけるように共通認識をもって職員同士で連絡を密にとるように心がけます。</p>
楽しみづくり	<p>個々での楽しみだけでなく、皆で楽しむことを引き続き企画し実施していきます。</p>
生活づくり	<p>生活の潤いを入居者自身が感じる事が出来ているか確認しながら、個々に応じた支援を展開できるようにしていきます。</p>
夜間支援	<p>ポプラとあずさと連携して、緊急時の安全確保を行います。</p>

(4) 年間スケジュール

月	行 事	月	行 事
4 月	利用者健康診断	10 月	ホーム日帰りレク
5 月	合同レク（帰宅者以外）	11 月	インフルエンザ予防接種 地区公民館文化祭
6 月		12 月	文化事業・合同クリスマス会
7 月	職員健康診断	1 月	初詣・よるべ新年会
8 月	地区夏祭り・合同BBQ	2 月	節分豆まき
9 月		3 月	観桜会
【その他】誕生会・ドライブ・料理教室・お菓子作り（随時）			

(5) 医療

日々のバイタルチェックを行うとともに、必要に応じて通院同行等を行います。

(6) 苦情解決

入居者の話に耳を傾け、「苦情解決システム」に基づき丁寧な対応を心がけます。

JSY（寿徳会・至泉会・よるべ会）ネットにて、各機関での経過・報告を行い、支援の質の向上に努めていきます。

(7) 県西地区障害者施設権利擁護ネットワーク（KW ネット）

1名の相談員（女性）による相談支援を、継続的に年間3回行います。

(8) 防災・災害対策

園の防災委員会に参加して、防災計画・防災設備の点検及び非常食の整備を行い、災害に備えて定期的に避難訓練を行います。

(9) 職員の質の向上

オンライン研修及び園内研修等に参加するとともに、外部のグループホーム職員研修にも積極的に参加し、職員のスキルアップを図ります。

(10) 地域連携

地域活動及び行事等に参加・協力するとともに、「はーとふる通信」（年2回）を継続的に発行して啓蒙活動を推進します。

〔3〕 ISO 品質活動計画

*梅香園の品質活動計画に準じます。



福祉型障害児入所施設「わらべの杜」 事業計画

〔1〕 運営目標

社会的養護を必要とされている児童に対し、安心・安全な“暮らし”を提供します。入退所における空床がないよう事前の調整等を図り、通年通して安定した運営となることを目指します。また、円滑な地域移行となるよう早期の移行調整を図り、児童にとって最適な暮らしの場へつなげていくようにすすめていきます。

児童の権利擁護に関しては、児童虐待の防止と職員の意識向上に今後も引き続き努めていきます。

〔2〕 年間計画

(1) 障害児入所支援（定員40名（男29名、女11名）、6ユニット制）

児童に寄り添い、気持ちを受け止めていくことを前提に、支援を継続・展開していきます。卒園していく児童は令和4年度は3名を予定していますが、新型コロナウイルス等感染症の影響もあり。早めの対応・対策をとり進めていきたいと思えます。

(2) 短期入所事業（定員4名）

新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら受け入れを実施していきます。新規のご希望の方が減少している傾向がありますが、これはコロナ禍での新規受入れを中断していたことも大きく影響しています。このため、今後は相談支援事業所との連携を図り、必要な方へのサービス提供となるよう周知をしていきます。

(3) 学校関係

【今年度通学予定の学校および人数】（令和4年4月1日現在）

学校名	学部等	男（人）	女（人）	計（人）
下中小学校	特別支援級	5	2	7
橘中学校	特別支援級	5	1	6
小田原養護学校	小学部	0	1	1
	中学部	1	0	1
	高等部	13	3	16
	高等部分教室	0	0	0

(4) 年間スケジュール

月	行事	月	行事
4	入学式・障害者スポーツ大会	10	下中うっしっしー祭り・ふれあい祭り
5	バーベキュー・みんなのつどい	11	地域行事
6	地域行事	12	Xmas会・ホームパーティ
7	夏休み	1	初日の出・新年会
8	一泊旅行・各寮イベント	2	節分・卒業旅行
9	防災の日	3	非常食の日・送る会
【その他】日帰り旅行・長期休暇各寮イベント・GH交流会など			

(5) 医療

- ① 職員健康診断 1回/年
- ② 児童健康診断 2回/年（うち1回は学校で実施）百合が丘クリニック
- ③ 児童歯科検診 1回/年 こうの歯科
- ④ インフルエンザ予防接種 1回～2回/年（小学生のみ2回）百合が丘クリニック
- ⑤ その他予防接種
- ⑥ 定期通院（児童精神科・皮膚科・眼科・小児科など）

(6) 苦情解決

ご利用されている方々からの話に耳を傾け、丁寧な対応を心がけます。

JSY（寿徳会・至泉会・よるべ会）ネットにて、各機関での経過・報告を行い、支援の質の向上に努めていきます。

(7) 県西地区障害者施設権利擁護ネットワーク（KW ネット）

2名の相談員（女性2名）が継続的に来園されます。回数はコロナウイルスの影響もあり、必要に応じた回数となりますが、第三者としての目を入れることで、少しでも児童の気持ちを引き出せることを目指しています。

児童からの具体的な相談はあまりないものの、各寮にそれぞれ入り、児童との会話に積極的に入っています。権利擁護にかかる内容や、なかなか人に言えない内容等があった場合には、KW 協力員、施設長とも相談し、施設全体として解決に向けて取り組みます。

(8) 防災・災害対策

今年度も例年通り月1回の避難・通報・消火訓練を実施していきます。また、昨年度は中止となってしまった地域での防災フェスタ等が開催される際には積極的に参加し、職員の防災意識向上へ努めていきます。

風水害を想定した訓練も実施し、さらに防災対策には力を入れていくようにし

ていきます。

(9) 研修

研修には変化をつけて実施していきたいと思いますが、コロナウイルスの影響を踏まえ、オンライン研修等を積極的に活用し、職員のモチベーションの維持・向上を目指し、将来を担ってもらえる“人財”の育成と確保に力を入れていきます。また、研修内容では、虐待防止研修や感染症対策等、可能な限り職員全員に受けていけることを目指し取り組んでいきます。

(10) 地域連携

地域の中の一つの拠点としての機能を保ち、地域に必要とされる施設、開かれた施設を目指し、今後も地域活動・行事に積極的に参加・協力をしていきます。地域ニーズとは何かを「まちづくり委員会」を通して考えていき、施設としてできることを今後も考えていきたいと思っています。

〔ISO 品質活動計画〕

項目	具体的活動	到達点
【権利擁護の確立】① (1寮)子どもの意見表明を中心とした生活を創出する。	こども会議の開催、第三者の視点を入れた取り組み等	子ども会議を主軸に、特性に応じた意見表明の場を通年で継続していく。さらに、生活の中で体験する機会を設け、振り返りや評価等の意見(表明)交換を実施していく。
【権利擁護の確立】② (2寮)人権擁護のためのセルフチェックリストを作成し自身の関りを見つめると共に、子どもたちの安心感もアンケートにて確認していく。	チェックリストの作成とアンケートの実施、SSTの継続等	職員が自身の関わり方を客観的に見つめ、適切な関りが出来ているか振り返ると共に、児童が安心・安全な生活を送れていると感じる事ができる。
【権利擁護の確立】③ (3寮)年齢や特性に適した方法を基本に、子供たちが、自ら題材を見つけて発信できるような子ども会議を行う。	こども会議の開催とテーマに沿った意見の発信等を促す	子供たちが、子ども会議で盛んな意見交換ができ、会議の内容が日常に活かされている。
【人材確保・育成の取組み】 様々な状況を見定め、研修等に参加していく。	オンライン研修やE-ラーニング等の活用により、積極的に研修へ参加する	研修等に参加し、児童、生徒の支援の質が向上する。

<p>【業務の検証と改善】</p> <p>(1 寮) 支援環境の美化を目指す。</p> <p>(2 寮) 経年劣化個所とその改善方法の検討。</p> <p>(3 寮) 生活環境を整える。</p>	<p>各寮ごとに必要な環境整備や美化活動を行っていく</p>	<p>(1 寮) わらべ約 10 年目を迎え、各所で汚れや破損等が目立つ。美化すべきポイントの把握と改善を目指したい。</p> <p>(2 寮) 劣化個所がきれいになり、気持ち良い生活が送れる。</p> <p>(3 寮) 破損している備品・家具等の修理や買い替えを進め、生活しやすい環境を作る。</p>
<p>【地域社会との連携】</p> <p>様々な状況を見定め、地域行事の参加をしていく。</p>	<p>まちづくり委員会での地域行事の確認と行事開催の際に積極的に参加していく</p>	<p>地域行事に参加できたか。</p>

令和4年度

児童発達支援事業所 「どーむ（童夢）」 事業計画

〔1〕 運営目標

安定した事業運営を目指し、活動を通して広く周知をしていきます。

また、療育を必要とされている児童に対し、可能な限りサービス提供できるよう関係機関との調整を図り、児童に丁寧かつ慎重に支援し、保護者への支援も実施しながら、児童の健やかな成長をサポートしていきます。

〔2〕 年間計画

（1） 児童発達支援事業（定員10名/日）

適切な環境の中で療育を実施し、児童の情緒の安定を図り、心身とも健やかな成長となるよう支援していきます。就学に向けた支援では関係機関との連携を図り、安心した移行となるよう準備を進めていきます。

「発達支援」「家族支援」「地域支援」を支援の3本柱として、個別支援計画（ぼくとわたしの目標シート）を作成。作成にあたっては併行通園先との情報共有を生かし、適切な目標設定を目指します。

児童、保護者の気持ちに寄り添い、家庭で適切な養育になっていけるようサポートしていきます。また、コロナ禍で実施できなかった「茶話会」を令和4年度は少なくとも1回は開催できるように計画していきたいと考えています。保護者同士の支えになれる良い機会になるよう取り組んでいきます。

（2） 年間スケジュール

顔合わせ週間、面談（年間3回）、茶話会、プール、各種プログラム等

〔3〕 医療

協力医療機関、その他必要な医療機関と連携していきます。

〔4〕 苦情解決

ご利用されている方々からの話に耳を傾け、丁寧な対応を心がけます。

JSY（寿徳会・至泉会・よるべ会）ネットにて、各機関での経過・報告を行い、支援の質の向上に努めていきます。

また、「事業所評価」を令和4年度も運営改善につなげていけるよう実施していきます。

〔5〕 防災・災害対策

月1回の避難・消化・通報訓練を継続して実施していきます。また、訓練は緊張感を持った取り組みと風水害への対策も想定した内容についても実施していきます。

〔6〕研修

オンライン研修の充実とともに参加しやすい環境も整備されてきており、Eラーニング等のオンライン研修を事業所内で気軽に実施することも可能となりました。

また、今年度も併行通園先とのコミュニケーションを通し、幼稚園・保育園としての考え方を学び、小田原市で実施している「早期発達支援事業（研修）」への参加も行っていきます。

保護者支援としては、ペアレントトレーニング研修開催に向けて検討をすすめていきます。

〔7〕地域連携

併行通園している幼稚園・保育園等と連携し、児童の状況把握に努め、早期対応が可能となるよう向けていきます。

また、市町の発達相談（心理相談）とも連絡を取り合い、療育としての視点だけでなく、心理的側面からのアプローチについても進めていきます。

どーむとしてのフォローアップの必要性について検討をすすめ、必要に応じて小学校への訪問もすすめていけるよう取り組んでいく予定です。

〔ISO 品質活動計画〕

項目	具体的活動	到達点
<p>【人材確保・育成の実質的取組】 ◆権利擁護に係る研修への参加、その他必要な研修をすすめ、療育だけにとらわれない内容を含めて推進する。また研修報告をどーむ会議や療育支援会議にて報告し、伝達していく。</p>	<p>虐待防止研修、感染症対策研修、小田原市で実施される「早期発達支援講習会」等への出席。オンライン研修についてはスペシャルラーニングを中心に行っていく。</p>	<p>権利擁護研修や感染症対策研修など、必要な研修を全職員が受講する。</p>
<p>【地域社会との連携】 ◆行政機関、小学校や幼稚園・保育園含めた関係機関との連携を深める。</p>	<p>必要なカンファレンスの実施、出席。併行通園先への訪問と情報共有を行う。</p>	<p>行政機関との報告・連絡を丁寧に行い、併行通園先との連携も継続しながら、新たな訪問先との関係も深める。小学校へは卒園児のフォローアップとしての訪問を実施。</p>

令和4年度

障害者支援センター「ぽけっと」事業計画

〔1〕運営目標

障害者就業・生活支援センター事業として、県西圏域の障害のある方に対し、就職や職場適応などの就業面の支援及び、生活習慣の形成や日常生活の管理など、就業に伴う日常生活、社会生活上の支援を行う。また、身近な地域で就業面及び生活面で一体的かつ総合的な支援を提供するため、地域における関係機関との連携を行い、障害者の職業生活における自立を図る。効果的な支援提供の為に導入した職員ライン制の役割分担を明確にし、支援体制の強化を行っていく。

〔2〕年間計画

1. 障害者就業・生活支援センター事業(雇用安定事業)

- (1) 障害者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について必要な指導及び助言その他の支援を行う。
- (2) 事業主に対して、障害者の雇用前後の雇用管理に係る助言等を行う。
- (3) 障害のある人に対して、当センター及び障害者職業センター又は事業所により行われる職業準備訓練及び職場実習を行うことを斡旋する。
- (4) 関係機関との連絡会議などを開催し、これら機関との連携を図る。
- (5) 地域の就労支援力の底上げの為、関係機関とのネットワーク形成のための会議、交流会及び障害者雇用企業間のネットワーク構築を目的とした企業交流会等の開催を行う。
- (6) 職場定着支援及び就労促進のための在職者の交流活動及び求職者を対象としたピアサポート活動を行う。
- (7) 障害者雇用支援者に関する情報の収集及び提供並びに研修を実施する。

2. 障害者就業・生活支援センター事業(生活支援事業)

就業に伴う日常生活の支援を必要とする登録者に対し、窓口での相談や職場・家庭訪問等による生活面の支援などを実施する。

3. 地域就労援助センター事業

就労が困難な障害のある人の就労を支援するため、職業能力に応じた就労の場の確保と職場定着を支援する。

4. 職員体制

	常勤	非常勤	計
所長	1名		1名
課長	1名		1名
就労支援ワーカー	4名	2名	6名

5. 年間スケジュール

月	行事	月	行事
4	フリースペース・ぼけっと通信発行 チーム支援会議打合（職安）	10	合同面接会・フリースペース
5	ぼけっとピア	11	企業交流会・ぼけっとピア
6	フリースペース・企業交流会	12	フリースペース・ぼけっと通信発行 チーム支援会議（職安）
7	勉強会・フリースペース チーム支援会議（職安）	1	勉強会・企業交流会
8	養護連絡会・フリースペース	2	ぼけっとピア・養護学校連絡会 ぼけっと連絡会
9	企業交流会・合同面接会向けピア活動 面接会向けセミナー・合同面接練習会	3	フリースペース

6. 職員の質の向上

- (1)「ぼけっと」では、登録者一人ひとりの能力と適性を発揮できる就労を目指している。
その実現には、職員個々の支援力の向上は必須となるため、内外の研修会に積極的に参加し、支援者としての権利擁護の視点や、専門的な知識の習得等、そのレベルアップを図っていく。また、所内会議等にて報告を実施し、外部研修の成果を全員で共有する。コーディネート力の向上に向け、ケース検討や記録の振り返りも職員間で定期的に行い、支援力の底上げをしていく。
- (2)職員個々の目標を設定し、課題や達成時期等を明確にするとともに、目標に対する進捗状況の確認を行う。（人事考課等）

〔3〕 ISO 品質活動計画

項目	具体的活動	到達点
【権利擁護の確立】	<p>権利擁護について、日常的に話し合える土壌を作る。チェックリストを通して効果測定を定期的を実施し、権利擁護できる力の向上を意識する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に話し合える機会の実践を図る。
【人材の確保と育成】	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容を共有し、チームとして連携するための記録の整理と定着を図る。(記録の相互チェック・共有シートの定着) ・ケース検討を定期的を実施し、多角的な視点を学び合い、目標に向かうチーム力を高め、支援の向上につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすい記録により、機を逸すことなく次の支援へつながる仕組みづくり。 ・困難ケースの共有を定期的に行い、各々の視点を共有する。
【業務の検証と改善】	<ul style="list-style-type: none"> ・PKP (ぼけっと改善プロジェクト) による、定期的な就業環境改善などの活動 ・ムリ、ムダ、ムラをなくすための業務の見える化への取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同様にPKPを組織化して、担当チームからの意見を反映する。 ・個々人に帰属している業務を定期的に行えるようにし、進捗できる仕組みを考えて実践する。
【地域社会との連携】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源との連携を目的とした訪問・ネットワークづくり ・ぼけっとの活動の発信 (通信・HP・精神障害者地域交流事業など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源と連携できる関係づくり。 ・活動の拡充・発信をすることで地域への障害者の認知を高める。